

九龍淵の飛瀑ひやく 玉龍洞の午餐ご 紅  
葉斜陽に燃ゆも 憲兵君の帽子ぼうし 河  
井里の温泉おん

秘密のものとて之  
 を公表する能はず(倫敦電報)  
 獨逸軍林間散亂  
 露都來電に依れば露軍はスチール  
 居心地の好きホテル  
 で極めて荒普通ながらも新らし  
 金剛山スケツチ(七) 前川千帆



地方では、先づ賢達といふ可きであらう。温井里は餅んで名の如く、温泉の地であり、鹽ふを含有し、腸胃の病氣に効ありといふわけであるが、兎も角も、食後附近の温泉に案内されて、浴中一路を試み、鮎貝と多量の鉄丸あり（組育電報）

此、**列強大戰**

讀し、誰の如く、披れたる身體をベツトに横へたるは、彼れ是れ、十一時前であつたらう。

**監値下案可決**

内務省薬業調査會にて  
内務省臨時藥業調查會乙部特別第  
會は二十一日午後一時同省に閉會  
專賣值下案を附議し原案可決三時

獨軍が新にリガ、ドウホナに突  
進し來りしは、大に注目  
に値す之れに對し露軍の振るべ

●  
總督訓示  
稅務課長會議終了  
總督府第二會議室に

十八日より

雜 報

力は六箇國の  
 スク方畠の敵  
 力に六箇國の  
 スク方畠の敵  
 力に六箇國の  
 スク方畠の敵

[illegible]

情に關して適用宜しきを得ざる故に、  
 常務會議に當りて課税の徴收、出納  
 事務を掌するの各位は已を保持す  
 るの周知にして能く秩序を整へ事を  
 するの公明にして無辜も私なく人に  
 するの懇切にして請託を容れず、以  
 て内外の信頼を深からしめざる可  
 く、斯の如くにして法の運用始め

局に當る者深く注意せざる可らず。殖産興業を獎勵して貿易の發達を促すは既に定方針として更に自給の途を講じ富國の實を擧げしむることに努力すべし、之が爲めは從來の税關事務取扱上に改善を要す可き事項尠からざるべく又進歩の制度の改善に變更を必要とする場合あるべきを信ず、各位は常に商取引の発展、殖産興業の充實に努め

の實情は其の如く、事朝野經濟上に關係を有するものは其直接と間接とに論なく深く淵源を考察し、之に對する關稅事務の沿革を案照し、時勢の推移に應じて其善否を圖り、尙往時制度に不便を感ずる處は發達に意見をも具陳する等、終始貿易の關稅免除の特典を設けたるも、可しして産業の保護獎勵に外ならず能はざる。

[illegible][illegible]

期すべし  
 今般新に輸移出米検査の制を設け朝鮮米の輸移出先に於ける盤價を昂め輸出之れと同時に米作の改良を促し輸出

其意を體し地方當局と連絡を保ち、輸出の便を遂行せむしむべし。

よく法令の精神を會得せしむるに共に常に充分注意して違反者を未然に防遏せんここに努め當該官憲と相協力して取締上遺憾なきを期す可し

新報の編輯に就ては常に願を酬する  
 處なるが故には至當に實を顯し其  
 八民に直捷と味 露政收奪を 納  
 なるを實掌せし 故に特に 國  
 なるを認むを以て常に充が部下を盡  
 旨指導し苟くも稅關の威信を損ひ官  
 吏の體面を汚す等のこと無き様各々  
 して其本分を盡さしむることに努  
 めし

大典と朝鮮物産

大興に對し朝鮮總督より奉獻す可  
 朝鮮内物産は二十三日各主官局  
 よりそれ／＼報告官まで提出し總  
 督の検査を経て宮内省宛発送の筈な  
 る其品目左の如し  
 米 一斗俵三 ▲大豆 一斗俵二

麻布	二匹	苧布	二匹
刺繡	二點	明鏡	百箇
寒天	三斤	人參	五斤
天日鹽	廿磅	砂金	一塊
金塊	一個		

●記念品の献納

本赤十字社並に愛國婦人會等無本  
 於ては十月二日總會の盛況を撮影  
 たる寫眞及び博愛館出品寫眞等  
 共進會入場者  
 廿一日（本曜日、曇）  
 晝間 七千四百十三人

取 締め の冊子 としたる 寫眞帖、 其	支那 人々 二 三 無料者 一、九五五	内地 夜間 二 千五百 七十六 其内 外國人 七六	支那 人々 一 四八 七 無料者 七七四	合計 九 千九百 二十九 人	場以 六十八萬 九千八百 七十三人	累計 六十八萬 九千八百 七十三人
-------------------------------------	------------------------------------	--	--	----------------------------	----------------------------	----------------------------

家、李煥公、李炯公兩家に獻納し  
岡本局長退京、金剛山及び  
海道方面視察中なりし岡本内務省  
林局長は二十一日夜入京、二十  
日は午前總督府を訪ひ、寺内總督

奉祀協議會 京城府にては  
長節並に御大禮奉祀の儀に付二  
三日午前十時より學校組合講堂に  
滿濟急行列車にて歸東の途に就き  
挨拶を爲し午後九時十分南大門驛  
正新橋驛より一名急行

奇産協議會終了 京畿道主  
の下に十八日より開會したる十三  
聯合の第二回奇産協議會は二十日  
以て全く終了したるが今世の會合  
來會したる者は百數十名にして大  
正五年十月間觀北道に於て開

視察團の實業家三千名、教育家十八名、

是廿二日午後九點四十分にて南大  
救護隊、前より、  
箱根英太郎氏（平尾邸便局局長）二十二  
日入京。  
水谷千一萬吉氏（平壤鎮撫使附屬）二十三日入京。  
牧野五一郎氏（陸軍技師）二十三日出發。  
諸國領事（元山駐在）二十二日長崎へ。  
安田警察（馬場署長）二十二日入京。  
村野（二十一日安達）、

人 事 消 息

三田善清氏	城北第一部長	二十一日歸任
麥田義民氏	城南第一部長	二十一日歸任
町田宗市氏	常呂分隊長	二十二日歸任
坂口次郎三氏	農務防疫班	二十一日歸任
上關する調査の爲め	二十二日より三週間の	
に關するに城北に出張		
倉外茂雄氏	國陣士	元出典與出頭中
松本正實氏	國陣士	熊澤引籠中の處全
氏正より引籠		

支那の帝政が出来上れば必ず騷亂が起ると云ふ事は最早決定つた問題になつたり

▲▲▲  
▲一體其れ迄にしても帝政とせ

此の爲めに帝政とするのだと主張  
 する。▲處が民意の爲めに騒動を  
 起し國家の爲めに騒亂をオク始めて  
 大つ張り國家の爲めだらうか可要  
 はない人民である▲而し人様々だか

の飛沫を受けぬ要心さへして居れば構はぬ。△對岸の火事でも火の粉が此處に來ると、葦屋は危ないから今か水桶の要意でもして置く。サ、帝政は最う英國も佛國も皆チャーンと

ちぢんだ。其處は袁總統の直に  
 あり、袁總統の意を察して英國に  
 近の借款を期前にお返し下さい  
 といふ。云ふのは斯うに初め英國  
 が他は知らず英國は承認を與へた  
 市販は歐洲戰事後にせよと忠告し  
 金々々やるなら騒亂の恐れがある

に英軍の駐屯を認め西蔵問題の交は英國の提議に従つて解決しよう

▲帝政投票の日も押し寄せて来た。立憲派の協進會と専政派の憲政協會と改進黨の軍政俱樂部と共和派が三派鼎立の姿となつた。日本では議會が近くなつて各

▲何方も此方も大分急がしくな  
來たので斯く云ふ拙者も急がし  
づで來る

有樂館天勝嬢大優待

東京を始め各地で大好評の  
有名な天勝嬢 大奇術 サロメ 劇  
と餘興

自二十二日起至二十四日 三日間  
 每日午後六時開演

名譽金牌受領記念として

左記の賣店にて  
入場券御買求の  
方には  
特等、壹等、貳等  
の各位に御土産  
進呈



進呈御土産

入場券販賣店

太平通二ノ五  
太平通夜市場  
本町一丁目  
本町三丁目  
明治町本町入口  
明治町日輪印刷社駐藏  
本町四丁目信房前  
南大門通力フエータイガー隣  
旭町一丁目

■貳等  
■壹等  
■特等

し  
ら  
ぎ  
一  
包

江藤商會  
廣伊藤雜貨店  
寶實屋商商店  
後藤田商商店  
安武す商店  
岡本商商店  
江煙草市内販賣部  
都江川商商店

京城盧江盧

[illegible]







千載一遇の御大  
奉祝せねばなりま  
すしますす



萬歳奉祝會  
朝鮮一販賣  
京城市報社代理部

振替東京三〇〇番

五寸	二寸五分	二寸七分	二寸六分	二寸五分	二寸四分	二寸三分	二寸二分	二寸一分	二寸	一寸五分	一寸四分	一寸三分	一寸二分	一寸一分	一寸	五分	四分	三分	二分	一分	五厘	四厘	三厘	二厘	一厘
本一	四	二	五	三	八	五	一	六	八	四	三	二	一	五	四	三	二	一	五	四	三	二	一	五	
圓五十錢	圓四十錢	圓三十錢	圓二十錢	圓十五錢	圓十錢	圓八錢	圓六錢	圓四錢	圓三錢	圓二錢	圓一錢	圓五厘	圓四厘	圓三厘	圓二厘	圓一厘	圓五厘	圓四厘	圓三厘	圓二厘	圓一厘	圓五厘	圓四厘	圓三厘	
十八錢	十二錢	八錢	六錢	四錢	三錢	二錢	一錢	五厘	四厘	三厘	二厘	一厘	五厘	四厘	三厘	二厘	一厘	五厘	四厘	三厘	二厘	一厘	五厘	四厘	

一流の價格 郵送料

[illegible]



山目が吉松丸と申し上げたが、

城へ御歸り遊はれたのが、慶長十三年四月八日、御歳三十四歳で御坐います。之を淨光院殿と申し上げる秀能公には御子さんが高山ございます。御惣領が三河守、三位宰相忠直、御次が御子守從三位宰相忠昌、三番目が御姫様で毛利少將秀康へ嫁入り、四番目が出羽守從四位少輔直政、五番、從三位宰相と御衆出しになり

[illegible]

▲廣 告▼

客室親切丁寧  
大和町  
松岡旅館  
電話三〇五番



女

春夜無限あかね珍香  
春情無限内容云々  
ねが花三三切手  
十三が夜直送す

大阪市北區東掘川町九  
大正堂

井上博士  
鬼薬

商標



紙 國

[illegible]

●キナピリンは現代に於ける最新  
にして最も進歩せる解熱藥なりミ  
方の歡迎を受けつゝあり

●キナピリンは 感冒・熱病・頭  
●インフルエンザ・リウマチ  
●間歇熱・リリヤ等にも大効あり

定 二包入箱拾圓 五包入箱五圓 十包入箱三圓  
十五包入箱二圓 三十包入箱一圓

本舖 大阪支店 高橋盛 大宮分  
發賣 同必齋 高橋盛 大宮分

英國製

〇飲み過ぎ 〇食過ぎ 〇消化不良 〇りうゐん  
 〇胸の痞へ 〇胸の痛み 〇慢性胃弱諸症に妙  
 てす 各薬店にあり  
 本舗 大阪江戸堀 猪飼史郎藥房

仁川本町三丁目

清酒

増本酒店

電話一〇九一  
振替京六九一

男淋病自熱力療  
女淋病自熱力療

本器は醫院部に於て山田弘倫博士セラムの博士の溫熱療法に基き幾多淋患者に就き苦心研究の結果完治せしものにて直接溫熱を加へ漸淋菌を滅殺する装置の結果完全なるを以て素人の自宅療法として最も安全なる治療に於ける幸福を得しガキにて申込次第上の門大家證明の説明書無代密送す

申込所 東京神田區小川橋本四三九一番第一博愛醫院器械部

會席御料理

共進會開催中は特に御  
晝食其他御好次第御手  
輕に調理可仕候


水族館を東へ一ツ目角

酔月 杉浦 あさ

電話二一九番

下痢

イヤ號自轉車と  
ヨーキタイやは輪車



銀牌  
受領

得じは

ひとり

ナイス

あつのみ

百人が百人乍ら

ナイスを使へば染骨が確て使ひ心地がよいと聞いて御愛用になります。雖はナイスには他に見られぬ五大特長があるからです。日本全国は素より海外迄も一番賣高の多い信用あるシラガ染はナイスです。

五 ■ タツタ二十分で染る。  
大 ■ 自然の髪の色に染る。  
き ■ 一度染めて永く保ち。

無

比



三  
二  
一

長  
國  
使  
用  
法  
至  
極  
簡  
易  
。

大  
阪  
・  
東  
京  
  
丹  
平  
商  
會

豐  
實  
元

對  
於  
各  
種  
病  
症  
之  
治  
療  
化  
驗  
而  
後  
行  
販  
賣  
す

價  
目  
小  
瓶  
六  
十  
圓  
中  
瓶  
八  
十  
圓  
大  
瓶  
一  
百  
圓  
男  
子  
用  
廿  
五  
圓  
女  
子  
用  
廿  
圓

消  
化  
生  
活

仁  
丹

め  
し  
あ  
が  
る  
上  
り  
ま  
した  
か

金  
言  
眞  
實  
は  
決  
て  
老  
死  
を  
免  
れ  
ず  
。

仁  
丹  
は  
胃  
腸  
を  
強  
健  
に  
す  
。

シ  
ョ  
ー  
キ  
タ  
イ  
ヤ

正  
原  
重  
臣  
外  
共  
拾  
九  
圓  
五  
拾  
圓

代表物  
 直輸入商  
 發賣元  
 朝鮮總代理店  
 瀧川銃砲自轉車店  
 京都市  
 京都市  
 京城明治町  
 電話三〇二番



# 朝鮮統治の成績

蘇  
峯  
生

第七第二

—

朝鮮併合と同時に生ずる問題とは、從來朝鮮と韓國との關係を、如何に措置する手の問題也。關稅の問題あり、居留地の問題あり、領事裁判の問題あり。伊藤總領事の如きは、法典を編纂し、法官を養成し、而して條約を裁奪除去を企てんとしたれども、我が總督政治は、寧ろ直轄を取りて進めり。乃ち併合の結果として、外人を全く我が直接に服従せしめたり。而して仁川、鎮南浦、群山、木浦、馬山、及び咸興には、各陸路居留地あり。仁川、釜山及び元山には、支那專管居留地あり。然も大正三年四月一日より、我が内地人によりて組織せられたる居留民の廢止と同時、に、内外人を舉げて、悉く新府廳の下に之を統一し、一切の制度を撤廢して、悉く之を我が行政機構の下に掛けり。

にして尙ほ婦孺の姿を振はんとするが如きあらば、我が總督政治は、寸毫之を容恕せざる可し。

吾人は我が寺内總督が、區々たる小策を弄せしめて、期に大陽出て、螢火を失ふ如く、其の併合の大構想を事實に應用し、一體同仁の君主愛を實施して、單に内地人と云はらず、朝鮮併入と云はす一切の外人をして、其の政治に隨々掩蔽せしめざる迄も、決して暴露、不諱の情態に陥らしめざるを見て、此の方面に於ける總督政治の治化の頗る著明なりしものあるを、推察せざらんとするも能はず。

人或は曰く「正直は、最上の政策也」と。我が朝鮮に於ける成功の要は、若し内外人に對して、差別を措かざるにあり。然も外人にして若し或は婦孺當時の不稔所に御れ、我が帝國の行政權を無視し、其の非法行為を爲すに掛けり。

A black and white photograph showing a steam locomotive pulling a flatbed rail car. The flatbed car is heavily loaded with large, cut logs. A sign is attached to the side of the flatbed car, featuring the Chinese characters '運送用具' (Transportation Equipment) in a bold, stylized font. The scene is set outdoors, likely at a logging or construction site, with a fence and other structures visible in the background.

[illegible]

鮮總督府屬  
 西村眞太郎著  
 金七拾錢  
 (但前金に限る  
 郵税申受候る)

朝鮮會話

新刊大好評 袖珍三百二十餘頁定價金八拾錢(郵税六錢)



竝賣以來好評噴々、日米だ淺きにも拘らず、破天荒の賣高を示したる  
 本書は朝鮮語修習上害ありて益なき一切の不必要物を除去し、見掛上  
 の體裁を避けて紙數の膨大を防ぎ、案に堪へざる單語羅列式の死文字  
 を滅却せり。又彼の言語を學ぶ者の最も困難とする動詞其の他の説明  
 の如き、解釋案に肯りて餘す所なく、一度本書を手いすれば、言葉の  
 應用自由自在にして、所謂「さつぱり」としたる語を學ぶを得べし。而

圖税にせりは、十國年關擴張の行を、併合の當時帝國の強明したる如くにして、現時の改正の如き、此の強明の範圍内に止まるは、海とてざるを得ざる也。然も即ち奢侈出税の撤廢に拘らず、關稅收入の如きは、明治四十三年に於て、三百四十四萬圓のもの、大正二年度に於ては、五百二十五萬餘圓に上れり。亦た以て其長足の進歩を見る可し。

但今日に於て、尙ほ多少の注意を要するは、第三者其他にあらずして、第三者によりて、何事をか做さんとせざらんとするが如き徒に於ては、其の戒心し、且つ自かから察心せざる可からざる事を覺悟せざる可からざるの政治とは、一様に放逸なるにあらず、一様に節制なるを云ふ也。

今日の朝鮮は、東洋小國の朝鮮にあらす、極東東國の朝鮮也、日本帝國の朝鮮也。吾人は我が總督政治の過信の、朝鮮に於ける内外人に、愛撫、激化の天と云はんより、實に我れに威服の天と云はんより、總督其人に、日本帝國の權力の隆昌なるに、仰慕せざらんとするも能はざる也。

會社の大同江に於ける同社委員の航  
 路模範と共に出来栄を誇る美事なり  
 朝鮮郵船株式會社は合計五箇の出品  
 あり、意を崇め、し、要する者

武川密  
夕焼に丘明るさや蕎麥の花  
九月十八日横濱より歸郷まで  
秋晴や大河の所々に魚飛べら  
うるさや何時までも枯打つ隣  
九月二十三日より歸郷まで  
旋れ来て宿に風呂かじ小夜枯  
六小の峠越え来て蕎麥の里  
谷々の川谷見ゆる秋の嶺  
栗色色折落寺  
山谷や牡丹根分の只一寺  
鶴生士の磯に立つ  
秋風や従者殉死の碑はいづこ  
九月二十六日より歸郷まで  
雲の影落つ山腹の蕎麥の花  
すたれたる鏡まだ通す新酒かな  
横濱三宿  
井戸の無き此の邑東多さかな  
此郷や美人に名ある秋茄子

徒に無駄骨折ることも多し、苦心慘憺、漸くにして不自然なる發音にして、多少の語句を暗記するの愚を避くるを得べし、既に本書の價值は世に定れる評あり。斯道の人士の切に學ばんと欲する朝鮮語の智識は本書に説き盡して餘蘊なし、敢て江湖に勸む速に本書を求められよ

**發行所** 京城大年通一丁目 振替口座京城三〇〇番  
**大取次** 大阪屋號 日韓書房 嚴松堂 各地支局及書肆

**京城日報社代理部**

始政五年記念物産共進會に於て嚴格なる御審査の結果左の通り表彰せられたり

するの朝鮮人は是れ也。今日朝鮮人の開島より諸領各方面に散在するもの、無慮十數萬。而して其の布哇にあり、米國にあるもの、其の數甚だ多からざると、其の言動は必ずしも悉く皆な穩健ならず云ふ可なり。彼等は夏爾水を知らざる類にして、今尙ほ排日の氣運を鼓吹し、其の萬一を僥倖せんとする者あり。伊藤公が

大共進會  
出品概觀 (些)  
第二號館 (土木交通)

本部の北手、中央、通路の右側に朝鮮道路の大模型ありて二等道路網の全概を現はし既に改修を了せるもの

の注目を惹かざるものなきが中にも  
會社の事業成績を示せる天人御期  
の壁畫下に据えたる沿岸航路の大  
型は電動力に依りて各岸燈臺に點  
火せるのみならず、小汽船を航行せ  
しめて航路の概況を示せる處、非常  
の好評を博し居れり

選給局の出品は模型、實物其他を合  
して百數十點を算せり、此中電報の  
も人目を忘らざるなく殊に西方に  
えたる大日慈尊堂は電氣を通じて

魚影見て繪垂く子に鱗如かな  
 京夏錦★踏ん鉄柳  
 踏切や鶴も遊べる秋茹かな  
 鎌倉桂樹沙上に京政府の墨香を薫つ  
 芥隈く秋 向 翠し人 沙上  
 櫻江中洲魚所見  
 芋植を住み著るまきやボブラ垣  
 眞島島に  
 梨剣くや鉄に入れし渡船風  
 流れ木に纏干やと黍の風  
 燕去ぬや江に著る渡る鶺鴒  
 船着けて寝顔の舳舳や秋夕日  
 野暮津の色を語る

品質の優良と製産高の多額なることは朝鮮唯一にして銀牌受領は斯界表彰の最高なり

銀牌受領 等 石灰

石灰界の霸王 長谷川和三郎

原石也 長谷川山 京畿道坡州郡法興里

哈爾濱に於ける、スチーブンスが桑  
港に於ける奇蹟は、何れも此の迷信  
の爲めに犧牲となりしに過ぎず。我  
が總督政治は、彼等を國外に迄追究  
して、其をして遺類ならしめんと  
するが如き、醜惡、小胆の政策を採  
らずの寧ろ、双手を開いて、彼等の厥  
後、歸國を望むもの也。されど彼等  
と本土との區分を明ならしめたり  
之に依れば、鮮内の道路網、延長總里  
程は、一等道路七百七十四里、二  
等道路二千二百九十八里八町、合  
計三千七十二里三十五町にして、道  
路改良程は、一等道路四百八十六  
里十六町、二等道路千八百八十九  
里一十七町に達する。

交誼を握えて通語の狀况を實地に示し、其後方、帶に電信電話の諸知識を具を分解的に陳列せるは觀望者をして復雜なる専門的智識を最も簡易に了解せしむる點に於て殆んど遺憾なき計甚だといふ可く、又た桂燈燈標の下方を硝子張とし魚旗を泳がし海鏡を相繼して海底の狀况を示せるは

古より印度に愚人あり、昔は樂

四、樂（承前）

閑餘隨錄

大谷光瑞

一時の術名の回復に樂あるを知らず世の自己を憐れせざらん事をのみ感れ心火常に燃え煩悶止む時なし其の苦、苦行より甚し憫むべき哉古の賢聖斯なるものあり展袞素を帶ひし琴を敷いて歌ふ孔子問うて曰く先生樂何ぞや耶曰く「天生萬物惟人為貴吾既得為人是一樂也男女之別男尊女

觀夷菊や看桜掲げて鯉鱈魚の子唐土子家に出入の足の子樂騒や生追ひて飲も貰ひ水

小丘上る

其のを疑ふに去る野萩かな

豊後國大分縣

ゴス、モスに汽車待人の無言を鉄に入れて渡す即符や萩の驛

高田町三先生作 重訂千五郎 櫻桃不裂

眞田井伊朝 道重千五郎 櫻桃不裂

〇熊本縣志に、特に五ヶ所豐收田情況の脚註を載む、岫山讀記一、楠山省公體要子

製造工場  
京城府麻浦  
京城古市町一丁目  
本店  
土管、青竹、煉瓦  
セメ  
官メ  
材ン  
料ト  
問屋  
上  
長谷川和三郎商店  
電話三八三番

會進共產物於  
領受牌賞銀

製其他  
造磁  
販賣器

ホーロク

煉瓦  
土管

土木建築請負業

稻葉組

平壤黃金町  
電話二三六番

鮮總督府屬  
 西村眞太郎著  
 金七拾錢  
 (但前金に限る  
 郵税申受候る)

朝鮮會話

新刊大好評 袖珍三百二十餘頁定價金八拾錢(郵税六錢)

竊賣以來好評噴々、日米だ淺きにも拘らず、破天荒の賣高を示したる  
 本書は朝鮮語修習上害ありて益なき一切の不必要物を除去し、見掛上  
 の體裁を避けて紙數の膨大を防ぎ、案に堪へざる單語羅列式の死文字  
 を滅却せり。又彼の言語を學ぶ者の最も困難とする動詞其の他の説明  
 の如き、解釋案に肯りて餘す所なく、一度本書を手いすれば、言葉の  
 應用自由自在にして、所謂「さつぱり」としたる語を學ぶを得べし。而

徒に無駄骨折ることも多し、苦心慘憺、漸くにして不自然なる發音にして、多少の語句を暗記するの愚を避くるを得べし、既に本書の價值は世に定れる評あり。斯道の人士の切に學ばんと欲する朝鮮語の智識は本書に説き盡して餘蘊なし、敢て江湖に勸む速に本書を求められよ

**發行所** 京城大年通一丁目 振替口座京城三〇〇番  
**大取次** 大阪屋號 日韓書房 嚴松堂 各地支局及書肆

**京城日報社代理部**

始政五年記念物産共進會に於て嚴格なる御審査の結果左の通り表彰せられたり

品質の優良と製産高の多額なることは朝鮮唯一にして銀牌受領は斯界  
表彰の最高なり

銀牌受領 優等石灰

石灰界の霸王 長谷川和三郎

原石地 長谷川山 京畿道坡州郡法興里

製造工場 京城府麻浦

本店 土管、青竹、煉瓦 左官、材料 問屋 上 長谷川和三郎商店

電話三八三番











